



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL.079-454-1447

3月は学年末の月。今年度は大変な1年となりました。最後まで体調を崩さないように過ごしましょう。そしてこれまで勉強してきたことがしっかり身についているか確かめながら復習し、次の学年につなげていきましょう。

※この度の2月の東北地方の地震で被災された方にお見舞い申し上げます。(Yochan/PIXTA)


 だれでも
分かる

教育情報 & ニュース



(イラスト yoshi/PIXTA)

自然が身近でなくなる？ 気象庁 「生物季節観測」を縮小

春になると、ニュースで桜の開花が取り上げられますね。気象庁が1953年から続けてきた、動物がその年に初めて確認された日や花の開花日などについての観測である「生物季節観測」が今年1月から大幅に縮小されました。これまで、全国の各気象台など58地点で、植物34種目(41項目)、動物23種目(24項目)を観測してきましたが、アブラゼミの初鳴きやツバメの初見など、動物に関する観測はすべて廃止され、植物は梅や桜の開花などの6種目(9項目)以外が廃止されました。

「生物季節観測」は季節の移りや気候の変化をとらえることを目的に行われていましたが、都市化で対象の生き物を見つけるのに時間がかかるようになったことで大幅な縮小となりました。

継続する種目・項目

アジサイ開花/イチヨウ黄葉・落葉/梅開花/カエデ紅葉・落葉/桜開花・満開/ススキ開花

4月から変わる！ 中学校新学習指導要領

今年の4月から、中学校の「学習指導要領」が変わります。「学習指導要領」とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるように、文部科学省が定めた学習のカリキュラムを編成する際の基準です。小学校のように授業数は増えませんが、学習内容では次のような変更があります。

(英語)

- ・学習単語数が小学校で学習するものに加え**1600~1800語**(現行は1200語)に大きく増加
- ・現在高校で学習する文法事項の一部(現在完了進行形、仮定法、原形不定詞など)を中学校で学習

(数学)

- ・「素数の積」「累積度数」「統計的確率」「四分位範囲」「箱ひげ図」が追加

(理科)

- ・「放射線」「自然災害」「2力のつり合い」などが追加

(社会)

- ・地理では、領土に関する扱いを充実させ、「世界の諸地域」「世界の様々な地域の調査」を合わせて学習
- ・歴史では、領土に関する扱いを充実させ、「世界の古代文明」「ユーラシアの変化」「ヨーロッパ人の来航の背景」「市民革命」の内容をより詳しく学習

よいスタートの
ために！

お
ここを押さえよう！

ちゅうがっこう しんせいかつ
中学校の新生活

4月になれば、みなさんは新しい学年に進級です。小6のみなさんは中学生になり、新しい環境での生活が始まります。今の小1～小5、中1、中2のみなさんにも新しい出会いが待っています。ここでは、今からできる新生活をスムーズに始めるポイントをお伝えします。

(イラスト マツ/PIXTA)

★新中1生はここを押さえよう！



中学校の授業は、各教科の授業が小学校よりも難しく時間も長くなり、1回の授業で習う量も多くになります。ですから、勉強のしかたを小学校のときと変える必要があります。毎日の予習・復習をしっかりと行い、分からないところをそのままにせず、理解してから先に進むことが大切。今から、予習・復習の習慣をつけましょう。また、中学校では定期的に学習内容の理解度を確認する「定期テスト」があります。定期テストの点数を元に成績が決まるので、しっかり対策をしておくことが大切です。定期テスト用の勉強も習慣づけましょう。そして、中学校では部活動が始まります。興味のある部活を見学・体験入部して、自分に合ったところを選びましょう。部活動は、心身がきたえられるだけでなく、新しい友達や先輩との人間関係が広がり、学校生活が充実しますよ。

勉強のしかたを押さえよう

予習と復習を習慣化！
まずは、予習をして、授業の内容をおおまかにつかむ。すべてを理解する必要はないので、時間をかけずに済ませることが大切。そして授業で理解を深めて、分からないところを授業時間内でなくすことがポイント。最後に復習することで、「理解している」状態を保とう。最後に実際に問題が解けるかをチェックしよう。
ノートの取り方に工夫を！
授業は先生の話に集中することが大切で、ノートは「短時間に必要なことを記録するもの」としてとらえ、次の点を踏まえて使おう。
①行間をゆったり使って書く、②日付、タイトルを必ず書く、③ペンの色は使い過ぎない。色のルールを決めて使おう。



★新中2生はここを押さえよう！

中2生は、生活リズムにも慣れ、「入試はまだ先」と考え、少し中だるみしがちです。でも中2生は学習内容が多いだけでなく、入試頻出の重要な内容もたくさん習います。日々の学習は積み重ねが大切。中2の出だしでつまづかないように、春休みに中1の復習をしましょう。特に苦手教科は、中1のテストや問題集で間違えた問題を解き直し、今のうちに苦手な分野をなくしておくことで安心です。

また、中2生になると、部活では先輩の立場になり、中心に立って活躍していくことになります。忙しい中で勉強と部活動を両立していくには、時間を上手に使うことが大切。例えば、授業の開始前、家で寝る前や、朝起きた直後など、「スキマ時間」を使うことで英単語や用語を暗記することができます。

★新中3生はここを押さえよう！



中3生は、いよいよ受験勉強が始まります。まずは、春休みから受験までのスケジュールを確認して、学習計画を立てましょう。計画を立て終えたら、中1・2で勉強した範囲の復習から始めましょう。これまでの教材や定期テストを見返して、つまづきをなくしておくことが大切です。

そして行きたい高校について考え始めましょう。コロナ禍で、実際に見学に行くことはまだ難しい状況ですが、高校のホームページを見るなどして情報を集め、行きたい学校のイメージを固めていきましょう。